



## 表千家同門会埼玉県支部 平林寺中興開山鉄山宗純禅師没後 400 年 記念献茶式のご報告

平林寺での3年ぶりの表千家献茶式は

猶有齋若宗匠ゆうゆうさいわかそうしょうをお迎えしての遠諱おんき記念献茶式となりました。

平成28年は平林寺中興開山鉄山宗純禅師の没後400年にあたります。鉄山禅師は当時、戦いで荒廃した平林寺を復興すべく、徳川家康の命によって中興開山として迎えられました。以来、平林寺は大河内松平家を大檀那として再興を果たし、今日に至ります。

平成22年に始まった平林寺での表千家献茶式は、3年毎に開催されています。第1回、第2回は而妙齋千宗左大宗匠じみょうさい、第3回の本年は次期家元猶有齋若宗匠にご奉仕賜りました。

献茶式は10月8日、奇しくも鉄山禅師の命日に執り行われました。午前11時、開式を告げる大太鼓とともに平林寺江楓室松竹寛山老大師に続き、猶有齋若宗匠らが入場。関係者150余名の参列のなか、若宗匠謹点の濃茶、薄茶二碗が江楓室老大師によって鉄山禅師に供えられ、厳粛な雰囲気のうち献茶式は無事、円成しました。

なお江楓室老大師は平成28年4月、表千家同門会埼玉県支部長に就任しています。



点前座にて謹点される若宗匠



<左上>平林寺総門と「表千家献茶式」の大看板。

<右上>早朝よりお集まりくださった同門会埼玉県支部の皆様。茶席は9時～15時過ぎまで設けられ500名が参加された。

<左下>大書院での濃茶席。

<右下>薄茶席は中書院にて。献茶式のあと茶席に入る若宗匠御一行と江楓室老大師。